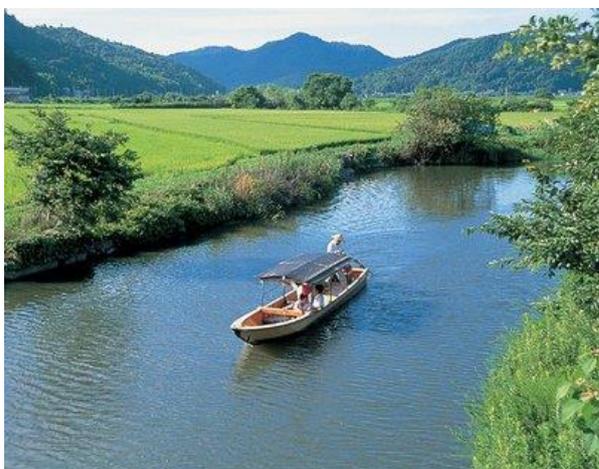


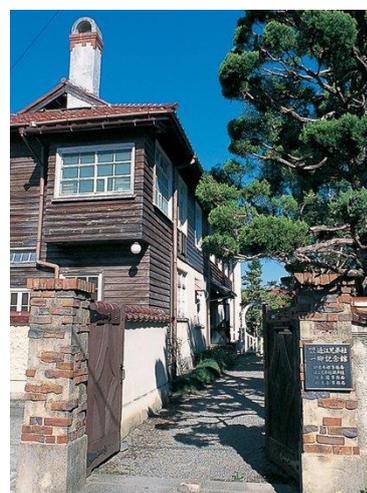
第34回ろう教育を考える 全国討論集会 in しが 参加ご案内

メインテーマ

～「誰一人取り残さない」ろう教育の実現と支援の輪～



水郷めぐり



ヴォーリス記念館

期日：2024(令和6)年7月26日(金)～28日(日)

会場：滋賀県立男女共同参画センター

主催：特定非営利活動法人 ろう教育を考える全国協議会

主管：一般社団法人 滋賀県ろうあ協会

(第34回ろう教育を考える全国討論集会inしが実行委員会)

ご あ い さ つ

「第34回ろう教育を考える全国討論集会」が滋賀で開催できること、大変喜ばしく感謝の気持ちでいっぱいです。実行委員は皆さんが参加して良かったと思えるように準備を進めております。

本集会のメインテーマは「誰一人取り残さない」ろう教育の実現と支援の輪です。きこえない・きこえにくい子どもたちが、これからの日本を担い得る社会人として、手話言語・支援等により分かり合えるコミュニケーション環境を保障され、いきいきと学び育つことへの願いが込められています。

滋賀県では、ご存知のように滋賀県立聾話学校において初代校長・西川吉之助による「口話教育」が進められ、長い間学校で「手話」の使用を禁止されていました。口話の訓練に励んだにも関わらず、社会人になってから、いろんな差別をうけたり、理解してもらえなかったり、苦しんだ過去がありました。

全日本ろうあ連盟の運動で、人権保障やろう者たちの暮らしの向上がすすめられていますが、まだまだ課題は残っています。

地方自治体での「手話言語条例」が、4月23日現在、38都道府県21区357市112町6村の計534自治体で制定されています。手話を習う機会が増えています。

国は「共生社会」をキーワードとし、障害者権利条約では「インクルーシブ教育」がうたわれています。障害のある子どもたちが、障害のない子どもたちと平等に教育を受ける権利を確保するために、サポートや支援スタッフ等のシステム作りが進められているかどうか話し合おうではありませんか。それぞれの能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し、社会参加できるようにするためには、どんな支援が必要か考えましょう。きこえない・きこえにくい子どもたちにとっては、「手話言語」獲得が選択肢の中に入ることが、大切なのではないのでしょうか。この集会で、いろんな人と意見を出し合い、討議を深めていくことを期待しております。

皆さんの参加をお待ちしております。ぜひ近江八幡市で会いましょう。

第34回ろう教育を考える全国討論集会 in しが

実行委員長 田邊 理恵子

第34回ろう教育を考える全国討論集会 in しが 開催要綱

1. 目的：

- ① きこえない・きこえにくいこどもたちが、これからの日本を担い得る社会人として、手話言語をはじめとする分かり合えるコミュニケーション環境を保障され、いきいきと学び育つことを願い、全国のきこえない・きこえにくい人、保護者、教職員、研究者、手話言語にかかわる人たちが一堂に会し討論することによって、全ての人に適切な教育が保障され、自立し共存できる社会の実現に寄与することを目的とする。
- ② 全国各地のろう教育を考える会の交流を図る。
- ③ 開催地を中心とする地域の関係者のより一層の理解と啓発を図る。

2. 事業名称：第34回ろう教育を考える全国討論集会 in しが

3. メインテーマ：「誰一人取り残さない」ろう教育の実現と支援の輪

4. 主催：特定非営利活動法人 ろう教育を考える全国協議会

5. 主管：一般社団法人 滋賀県ろうあ協会
(第34回ろう教育を考える全国討論集会 in しが実行委員会)

6. 期間：2024（令和6）年7月25日（木）～28日（日）

7. 開催地：滋賀県近江八幡市

8. 会場：滋賀県立男女共同参画センター
〒523-0891 滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4
電話 0748-37-3751 ファックス 0748-37-5770

9. 内容：7月25日（木） 全国協議会三役会議
7月26日（金） 全国協議会理事会、総会、分科会打ち合わせ
7月27日（土） 開会式、全体会、分科会、特別講座、交流会
7月28日（日） 分科会、全体会報告会、閉会式
7月27日（土）～28日（日） 小・中・高校生企画

10. 参加者規模：220名
ろう教育を考える全国協議会会員・賛助会員・一般参加者 200名
小中高生企画 20名

11. 参加費：一般参加の方 6,000円
ろう教育を考える全国協議会の個人会員・賛助会員 4,000円

12. 後援：（予定）

文部科学省、厚生労働省、こども家庭庁、手話を広める知事の会、全国手話言語市区長
会、滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会、滋賀県共同募金
会、滋賀県社会福祉協議会、滋賀県立聾話学校、滋賀県立聾話学校PTA、びわこ放送
京都新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、産経新聞社、毎日新聞社（順不同）

13. 協力：

滋賀県手話通訳問題研究会、滋賀県手話サークル連絡協議会、滋賀県手話通訳士会
滋賀県立聾話学校同窓会、NPO 法人しが盲ろう者友の会、滋賀県中途失聴難聴者協会
（特非）全国要約筆記問題研究会滋賀支部（順不同）

<集会日程表>

★は滋賀県立男女共同参画センター

日	時間	内容	場所
7/25 (木)	13:00～	三役表敬訪問(滋賀県、近江八幡市、滋賀県立聾話学校、 滋賀県立聴覚障害者センター)	
	15:00～	三役会議	滋賀県立聴覚障害者センター
7/26 (金)	9:30～11:30	理事会	★研修室A
	13:00～15:00	定期総会	★研修室A
	15:30～17:00	分科会打ち合わせ	★研修室A
7/27 (土)	9:30～	受付	★大ホール
	10:00～10:25	開会式・基調報告	
	10:40～12:30	全体会（講演）	
	13:30～16:30	第1分科会	★研修室A
		第2分科会	★研修室BC
		第3分科会	★視聴覚室
	特別講座	★大ホール	
18:30～20:30	交流会	ホテルニューオウミ	
7/28 (日)	9:00～11:00	第1分科会	★研修室A
		第2分科会	★研修室BC
		第3分科会	★視聴覚室
	11:00～11:30	閉会式	★分科会各会場（オンラインで繋ぐ）
	9:00～11:00	西川吉之助・はま子の 痕跡を巡るツアー	近江八幡市内
7/27(土)	10:00～16:30	小中高校生企画	婦人会館
7/28(日)	9:00～11:30		

プログラム

【開会式】 7月27日(土) 10:00~10:25 (受付:9:30~)

理事長挨拶、来賓祝辞等

基調報告(事務局長 堀米)

【全体会・講演】 7月27日(土) 10:40~12:30

テーマ	講師	内容
「ろう教育とろう運動(仮題)」	石原 保志 氏 筑波技術大学学長	ろう教育がろうあ運動をつくり、ろうあ運動が、ろう教育の方向を形づくっていく。この滋賀の地で一緒に考えていきましょう。

【分科会】 7月27日(土) 13:30~16:30、28日(日) 9:00~11:00

	テーマ	座長・報告者など	内容
第1分科会	乳幼児・保護者への早期支援	座長:徳岡 英一 氏 ろう教育を考える全国協議会理事 助言者:菅原 仙子 氏 都立葛飾ろう学校・都立大塚ろう学校早期教育相談指導員 東京都難聴児相談支援センター相談員	乳幼児期のきこえない・きこえにくい子どもとその家族のニーズに応える支援とは。保健、医療、福祉及び教育の連携が地域でどのように展開されているのか。現状や課題、それぞれの立場でできることをみんなで語り合しましょう。
第2分科会	ろう学校・地域とのつながり	座長:小林 泉 氏 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会 副理事長 助言者:石原 保志 氏 筑波技術大学学長	きこえない・きこえにくい子どもが通う学校がどこであっても、子どもの発達が保障される教育を。そのために、ろう学校・地域がどのようにつながり、教育・支援をどのように展開していくのか。現状や課題、それぞれの立場でできることをみんなで語り合しましょう。
第3分科会	ろう重複教育	座長:田中 清之 氏 ろう教育を考える全国協議会理事 助言者:中岡 正人 氏 (公社)大阪聴力障害者協会 常任理事	「誰一人取り残さない」ろう教育の実現に向けてろう重複教育を語ることは必須ではないでしょうか。ろう重複教育・支援をどのように展開していくのか。現状や課題、それぞれの立場でできることをみんなで語り合しましょう。

【特別講座】 7月27日(土) 13:30~16:30

	テーマ	講師	内容
13:30 ～	故西川吉之助校長の痕跡を追いかけて	立入 哉 氏 愛媛大学名誉教授	滋賀県立聾話学校の創立者である西川吉之助は、愛娘濱子の聴覚障害に気付き、自ら教育を始める。吉之助の生い立ち、濱子への教育の実態、当時の障害児に対する教育事情の中で吉之助は父親として奮闘し様々な成果をあげていく。その結果、口話法が日本全国に広がっていくが、吉之助自身は滋賀県立聾話学校を立ち上げるものの苦労の連続であった。66歳にて自死するまでの生涯を紹介する。
15:00 ～	コートジボワールの聾学校へ	秋山 なみ 氏 元神奈川県聾学校教員 現全国手話研修センター職員	西アフリカにあるフランス語圏のコートジボワールという国に半年滞在した経験から、きこえない人の暮らし、華やかな服飾文化、聾教育の実態などについてお伝えします。アフリカ全般に対するイメージとして、支援ということがよく言われていますが、実際に必要な支援とは何かという観点にも触れたいと考えています。

【西川吉之助・はま子の痕跡を巡るツアー】 7月28日(日) 9:00~11:00

内容
<p>西川吉之助生誕地、西川傳右衛門邸跡、ヴォーリズ記念館、ヴォーリズ学園などを巡ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> *9時に近江八幡駅北口に集合し、路線バスで移動。その後、歩行でのツアーになりますので、熱中症など健康に留意して、行動してください。 *定員20名(定員を超えた場合は抽選となります) *少雨決行。天候によって内容を変更する場合があります。

【交流会】 7月27日(土) 18:30~20:30 ホテルニューオウミにて

**【小・中・高校生企画】 7月27日(土) 10:00~16:30
7月28日(日) 9:00~11:30**

【閉会式】 7月28日(日) 11:00~11:30
分科会報告、特別講座報告、小・中・高校生企画報告
「明日へのアピール」発表、理事長挨拶

交流会のご案内

全国の仲間と交流し、親睦をはかりましょう。

みなさま、ぜひご参加ください。お待ちしております。

日時：2024年7月27日（土）18：30～20：30（受付：18：00～）

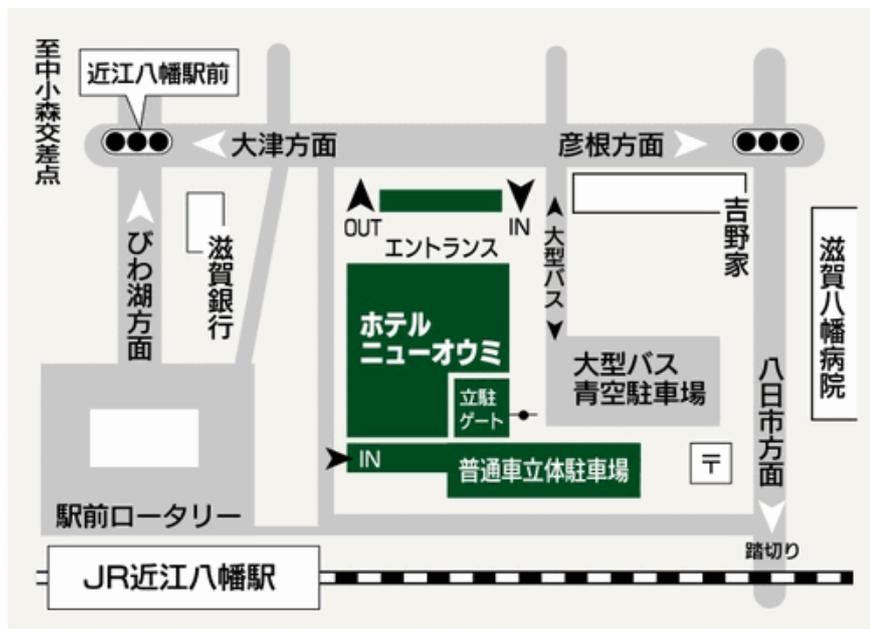
会場：ホテルニューオウミ

住所：滋賀県近江八幡市鷹飼町 1481 番地

（滋賀県立男女共同参画センターより徒歩12分／JR近江八幡駅より徒歩2分）

TEL：0748-36-6666 FAX：0748-36-8800

参加費：9,000円



小 ・ 中 ・ 高 校 生 企 画

ダンボールを使って琵琶湖の形のペンケース(トレイ)づくりをしたり、彦根市に古くから伝わるボードゲーム「カロム」で遊んだり、江戸時代から伝わる不思議な工芸品「愛知川びん細工てまり」をモチーフにしたストラップづくりをしたり…

今回は滋賀県ならではの制作やゲームを企画しました！みんなでわいわい楽しみましよう♪

日 時：2024年7月27日（土）10：00～16：30

7月28日（日） 9：00～11：30

受付場所：滋賀県婦人会館（県立男女共同参画センター隣）和室前

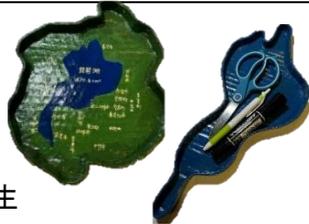
参加費：1日目の弁当あり 2,000円（制作費・保険料・弁当代）

1日目の弁当なし 1,400円（制作費・保険料）

※28日のみ参加のお子様や、アレルギー等で弁当を持参されるお子さまなどは、

弁当なしをお選びください。

《日程》

7/27 (土)	9:30～	受付	
	10:00～12:30	ダンボールアート教室 ～琵琶湖形のペンケース (トレイ)をつくろう～ 講師：ダンボールアーティスト 田中 和之先生	
	12:30～13:30	昼食(弁当) ※保護者と一緒に食べていただいてもかまいません	
	13:30～16:30	カロム体験 ～ボードゲーム「カロム」であそぼう～	
7/28 (日)	9:00～11:00	びん細工てまり教室 ～てまりストラップをつくろう～ 講師：びん細工てまり作家 辻 史子先生	
	11:00～11:30	企画体験発表	

参加申し込みのご案内

◆お申し込み方法について

申し込みには団体と個人による申し込みがあります。

(1) 団体による申し込み

ろう教育を考える全国協議会(以下「協議会」という)加入団体(別掲)都道府県のろう協または聴覚障害者団体および関係団体(手話サークル等)で受け付けます。お申し込みは個人申込書に必要事項をご記入の上、参加者に要する費用を添えて団体担当の方にお申し込み下さい。

※団体が協議会の正会員であっても、個人が正会員または賛助会員でない場合は一般参加となります。

※各団体の担当者は、申し込みを集約して所定の「総括申込書」に記入して、実行委員会事務局にお申し込み下さい。なお、参加費等は指定の口座にお振込み下さい。

(2) 個人による申し込み(団体による申し込みができない場合)

申込書に必要事項をご記入の上、実行委員会事務局(下記)にお申し込み下さい。

なお、参加費は指定の口座にお振込み下さい。

(3) 右記QRコードからも申込みいただけます。

なお、参加費は指定の口座にお振込み下さい。



【実行委員会事務局】

〒525-0032

滋賀県草津市大路 2-11-33 滋賀県立聴覚障害者センター気付

一般社団法人 滋賀県ろうあ協会

(第34回ろう教育を考える全国討論集会 in しが実行委員会)

FAX 077-564-4157 E-mail: fde.shiga2024@gmail.com

◆参加費の振込先について

滋賀銀行 米原支店(店番847) 普通 口座番号 364480

口座名義 滋賀実行委員会 事務局

※通信欄に「ろう教育全国討論集会参加費」と明記して下さい。

※振込手数料は各自でご負担をお願いします。

※お申込み後、参加を取り消された場合、集会参加費はお返しできませんので、ご了承下さい。

なお、6月20日(木)までに取り消された場合は、集会参加費以外は後日お返しします。その場合、振込手数料は参加者の方のご負担をお願いします。

事務手続きや処理の混乱を避けるため、参加申込書の送付と参加費の振込は、必ず同時にお願いします。

申込みは、郵送かFAXもしくは添付メール・QRコードでお願いします。電話での申し込みは受け付けていません。

申込み締切 2024年6月20日(木)

◆レポート発表について

分科会のレポート発表を希望される方は、「レポーター申込書」に必要事項をご記入の上、6月20日（木）（必着）までにお申し込み下さい。レポートが多数の場合は、協議会と実行委員会で調整させていただきます。（詳細は 12P～14P をご覧下さい。）

◆チケットの送付について

（1）団体による申し込み

申し込みいただいた団体に一括送付しますので、お手数ですが、各団体において参加者本人にお届けいただきますようご協力お願いします。

（2）個人による申し込み

申し込みいただいたご本人宅に送付します。

◆参加申込書の記入方法について

参加申込書は、分科会等参加、小・中・高校生企画参加、託児希望それぞれにご記入下さい。

※申込書は念のためコピーをとって保管して下さい。

《注意事項》

①団体申込・個人申込、いずれかに○を付けて下さい。

②都道府県名をご記入下さい。

③参加者の氏名・性別・年齢・住所・連絡先をご記入下さい。

④協議会賛助会員の有無、ろう者・きこえる人のいずれかに○を付けて下さい。

⑤所属団体は、次の中から選んでその番号に○を付けて下さい。

1. 学校関係者 2. 保護者 3. きこえない・きこえにくい人 4. 手話関係者 5. 学生 6. その他

⑥手話通訳以外の必要とする情報保障手段や介助について、該当するものに○を付けて下さい。

⑦分科会を選択された方は2日間とも同じ分科会にご参加下さい。

分科会は、希望されるものに○をご記入下さい。参加者が多い場合は実行委員会で調整する場合がありますので、第1希望・第2希望を必ずご記入下さい。

*特別講座を選択された方は、2日目(7/28)の参加希望分科会もお書きください。会場の定員の都合で調整する場合がありますので、第1希望・第2希望を必ずご記入下さい。

⑧7/28の「西川吉之助・はま子の痕跡を巡るツアー」に参加希望の方は、該当欄に○をつけてください。定員は20名とさせていただきます。(希望者多数の場合は抽選)

参加は無料ですが、路線バス代は各自お支払いください。

⑨託児は、子育てサポートNPOへの委託となります。会場は実行委員会で用意しますが、託児料は、集会受付時に実費でのお支払いとなります。なお、託児料は、託児申込児の年齢・人数・託児時間により、一人約2,500円～11,700円と変動します。おやつ・昼食は各自でご用意ください。昼食は保護者と一緒にとっていただきます。託児の定員は10名とし、先着順で締め切らせていただきます。

⑩参加経費については、該当欄に○を付け、合計金額を算出して下さい。

集会参加費	一般参加	6,000円
	協議会正会員（個人）	4,000円
	協議会賛助会員	4,000円
	※2024年度会費（2024年7月1日～2025年6月30日）の納入を済ませていない方は、一般参加扱いとなります。会費納入を済ませてからお申し込み下さい。 新規入会された場合も会員の参加費となります。 ※所属団体が正会員であっても、個人が正会員か賛助会員でなければ、一般参加となります。 ※当日、受付に集会参加受付と協議会会費受付を設けます。 集会参加受付：ろう教育を考える全国討論集会inしが実行委員会 協議会会費受付：ろう教育を考える全国協議会事務局	
昼食弁当 7月27日（土）	1,000円（お茶付き）	
交流会 7月27日（土）	9,000円	
小・中・高校生企画 7月27・28日（土・日）	1日目の弁当あり 2,000円（制作費・保険料・弁当代） 1日目の弁当なし 1,400円（制作費・保険料）	

☆お申込み受付後、申込内容に沿ったチケットをお送りします。

◆滋賀県立男女共同参画センターへのアクセス

○JRご利用の場合

JR琵琶湖線・近江八幡駅南口から約500m（徒歩8分）

*バスの場合、近江八幡南口から近江バス「男女共同参画センター前」下車

○お車の場合

名神高速道路「竜王」インターチェンジから

国道477号線を「近江八幡」方面へ、「西横関」交差点にて右折し国道8号線を「彦根・米原」方面へ、「千僧供町北」交差点にて左折、「近江八幡駅」方面へ約1キロ直進した右手側国道8号線から

「千僧供町北」交差点を「近江八幡駅」方面へ曲がり、約1キロ直進した右手側



宿 泊 施 設 の ご 案 内

宿泊施設について、近江八幡市内の7か所をご紹介します。

申し込みは各自でお願いします。なお、お申し込みの時期により宿泊料金に変更する場合がありますので、ご了承ください。 詳しくは、各ホテルにお問い合わせください。

No.	ホテル名	住所 (近江八幡市)	連絡先	アクセス
			市外局番 (0748)	
1	近江八幡ステーションホテル	鷹飼町南 3-3-9	TEL 37-3801 FAX 37-8678	近江八幡駅から 徒歩 1 分
2	AB ホテル近江八幡	鷹飼町 1498	TEL 29-3966 FAX 29-3965	近江八幡駅から 徒歩 2 分
3	ホテルニューオウミ	鷹飼町 1481	TEL 36-6666 FAX 36-8800	近江八幡駅から 徒歩 2 分
4	コンフォートイン近江八幡	鷹飼町 514-1	TEL 36-0001 FAX 36-0038	近江八幡駅から 徒歩 2 分
5	第一ホテル	白鳥町 48-9	TEL 32-2003 FAX 32-1659	近江八幡駅から 徒歩 5 分
6	ホテルはちまん	桜宮町 285	TEL 33-1771 FAX 33-1783	近江八幡駅から 徒歩 5 分
7	グリーンホテル Yes 近江八幡	中村町 21-6	TEL 32-8180 FAX 32-8160	近江八幡駅から 徒歩 7 分

* 近隣の駅近くにもホテルがあります。

- ・能登川駅(近江八幡駅まで JR で快速 7 分、新快速 6 分)
- ・野洲駅(近江八幡駅まで JR で快速 7 分、新快速 6 分)
- ・守山駅(近江八幡駅まで JR で快速 11 分、新快速 9 分)
- ・栗東駅(近江八幡駅まで JR で快速 13 分)
- ・草津駅(近江八幡駅まで JR で快速 16 分、新快速 13 分)

レポーター募集要項

1. レポートの内容と発表方法

- (1) 「第34回ろう教育を考える全国討論集会inしが」の分科会テーマ、討論の主旨に沿ったものとし、各分科会のテーマと討論の主旨については、この案内書(P4)に記載してあります。
- (2) 抽象的な一般論ではなく、体験や実績に基づく具体的な内容で、分科会における問題提起、問題解決のための討論の材料となるものをお願いします。
- (3) 発表にあたっては、できるだけOHCやパワーポイントなど視覚的な表示手段を併用するようお願いします。なお、使用する機器については、別紙レポーター申込書の欄に明記して下さい。パソコンは、各自が持参されるようお願いいたします。

※会場の都合で使用できない場合もありますが実行委員会では最大限の努力をいたします。

- (4) レポートの発表の時間は、1テーマにつき30分を目安にします。
- (5) レポートの発表順、時間等については、当該分科会の座長に一任させていただきます。なお、特に希望がある場合は、予め実行委員会に申し出てください。

2. レポート発表の日時について

- (1) レポートの発表日時は、追ってお知らせいたします。
- (2) レポーターは、発表する分科会に出席し、分科会討議に参加していただくことを原則とします。
- (3) 7月26日(金)15時30分から、各分科会の座長・助言者・通訳者等関係者と顔合わせを兼ねて簡単な打ち合わせを行います。会場は、追ってお知らせいたします。

3. レポーターの人数について

各分科会2名とします。希望者が多数の場合は、座長等の判断に委ねます。

4. レポーターの条件

- (1) 「第34回ろう教育を考える全国討論集会inしが」への申し込みをされた方に限ります。参加申し込みをされていない方は、応募できません。
- (2) レポーターの昼食は、実行委員会が負担しますので、レポーターは参加申込書の弁当欄には記入しないでください。
- (3) レポーターには、実行委員会から薄謝を準備いたします。なお、旅費・宿泊費など滞在に要する経費は自己負担でお願いします。

5. 応募方法

添付されている所定のレポーター申込書に必要事項を記入して申し込んでください。

申込締切は、6月20日(木)必着(厳守)です。

6. 予稿について

- (1) A4縦長の用紙にパソコンまたはワープロを使った横書き、2ページまでとします。
記入例は次のとおりです。

分科会 ○

「ろう教育における○○○○○○○○について」

所属団体 ○○県立○○学校(担当を明記して下さい)

氏名

住所 〒

TEL

FAX

E-mail

- (2) いただいた予稿の内容（住所、連絡先は除く）は、そのまま集会プログラム誌に掲載しますので、よろしくお願いたします。
- (3) 上下左右は各2センチ空けるようにお願いします。
- (4) 予稿の提出は **6月20日(木)必着(厳守)** です。遅れた場合は、集会プログラム誌への掲載はできません。
- (5) 予稿は、必ずEメールか郵送でお届けください。FAXは鮮明でない場合がありますので、ご遠慮下さい。
(しが実行委員会 E-mail : fde.shiga2024@gmail.com)
- (6) 予稿以外に、当日資料の配布を希望される場合は、当該分科会参加人数に合わせた必要部数を各自で用意して、当該分科会の座長にお渡し下さい。なお、当該分科会参加人数は追ってお知らせいたします。

第34回ろう教育を考える全国討論集会in しが

レポーター申込書

◎6月20日(木)までにお申し込み下さい。

ふりがな 氏名				ろう者 ・ きこえる人
所属団体				
住所	〒			
FAX			TEL	
E-mail				
レポート希望分科会	分科会 () テーマ:			
レポートタイトル (仮題でも可) および概要				
発表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・手話言語のみ (読み取り通訳込み) ・手話と音声併用 ・音声だけ ・その他 () 			
使用機器の希望	<ul style="list-style-type: none"> ・OHC ・プロジェクター ・ビデオ ・その他 () 			
その他 希望や意見、連絡がありましたら記入してください。				

※いただいた個人情報は、当集会の目的以外には利用しません。

第34回ろう教育を考える全国討論集会 in しが 参加申込書

団体 ・ 個人

- 申込書は、必ずコピー（控え）をとってお手元に保管しておいてください。
- 6月20日（木）までにお申し込みください。

都道府県名：

ふりがな		性別	年齢	全国協議会の区分※1	ろう者 きこえる人
氏名		男・女	才 (学年 年)	正会員・賛助会員・非会員	
住所	〒		所属団体名		
FAX			団体区分（※該当するところに○を付けてください。		
TEL			1 学校関係者 2 保護者 3 きこえない・きこえにくい人		
E-mail			4 手話関係者 5 学生 6 その他		
手話言語通訳以外の必要とする情報保障手段や介助に○を付けてください。		1. 磁気誘導ループ 2. 要約筆記 3. 盲ろう通訳（希望の通訳方法）※2 4. 車いす使用 5. その他（ ）			

※1 全国協議会会員の区分＝地域団体の加盟有無に関わらず、個人が正会員か賛助会員であることが条件となります。
 ※2 盲ろう者の通訳介助は原則会場内とします。会場までの通訳介助者は各自でご手配ください。

■参加記入欄・・・※希望するところに○をつけてください。

●開会式・全体会

	出席	欠席
開会式		
全体会		

●分科会・特別講座

	第1分科会	第2分科会	第3分科会	特別講座
第1希望				
第2希望				

※分科会を選択した方は実行委員会で決められた分科会に参加してください。
 ※特別講座に○をつけた方は7/28(日)の希望分科会にも○をつけてください。

	第1分科会	第2分科会	第3分科会
7/28(日) 第1希望			
7/28(日) 第2希望			

●7/27交流会

交流会参加	
-------	--

●7/28 近江八幡市の西川氏の痕跡を巡るツアー

ツアー参加希望	
---------	--

■小・中・高校生企画・・・小・中・高校生企画参加者は別紙の申込書にも記入してください。

※小・中・高校生企画参加者には万一に備えて傷害保険をかけますので、氏名・生年月日を必ずご記入してください。

ふりがな		生年月日	年齢	性別	ろう・きこえる
氏名		年 月 日	才	男・女	

■託児斡旋申込・・・※希望欄に○を付け、お子様のお名前、年齢をご記入ください。

希望日時	日	時間	希望欄	性別	お子様のお名前・年齢
	7月27日	10:00～16:30		男・女	ふりがな (才 カ月)
7月28日	9:00～11:30				

■参加経費・・・※該当する欄に○印及び必要事項をご記入のうえ、申込金額の合計を算出してください。

項目	種別	金額	希望欄	備考
集会参加費	一般参加	6,000円		
	会員	4,000円		協議会正会員（個人）・協議会賛助会員
昼食弁当	7月27日(土)	1,000円		
交流会参加	7月27日(土)	9,000円		
小・中・高校生企画 7月27・28日	1日目弁当あり	2,000円		制作費・保険料・弁当代
	1日目弁当なし	1,400円		制作費・保険料
合計金額		円		

※お申込み後、参加を取り消された場合、集会参加費はお返しできません。ご了承ください。
 ※いただいた個人情報、当集会の目的以外には利用しません。
 ※託児料は、当日受付でのお支払いとなります。

第34回ろう教育を考える全国討論集会inしが

小・中・高校生企画参加申込書

◎申込書は、必ずコピー（控え）をとって、お手元に保管しておいて下さい。

◎6月20日（木）までにお申し込み下さい。

ふりがな			性別	ろう者の場合	コミュニケーション方法
氏名			男・女		手話言語・口話・筆談
生年月日	平成 年 月 日（ 歳）		学年		
住所	〒				
FAX			TEL		
E-mail					
参加日	両日とも参加 ・ 27日のみ参加 ・ 28日のみ参加				

*制作の材料準備の都合上、参加される日についてもご記入ください。

保護者記入欄（おとうさんやおかあさんにかいてもらってね）

ふりがな		続柄	保護者がろう者の場合 コミュニケーション方法
保護者の名前		父・母 その他（ ）	
緊急連絡先	携帯電話番号：		手話言語 口話 筆談
	携帯アドレス：		
	E-mail：		

健康調査（必ず記入してください）

◆現在、服用している薬はありますか？ ない・ある ⇒ 薬品名、服用回数・量
◆アレルギー（薬、動植物など）、食物制限、湿疹、喘息など、ご心配なことはありますか？
◆スタッフに対して、希望されることや気を付けてほしいことはありますか？

★その他、注意事項があればお書きください

--

※いただいた個人情報は、当集会の目的以外には利用しません。

特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会

ごあんない

当協議会は、1989年に結成され、毎年、夏に「ろう教育を考える全国討論集会」を開催してきました。本年は34回目のしが集会への参加者を呼びかけています。

また、ろう教育の発展を願って出版活動にも積極的に取り組み、教科ごとの手話の指導書なども発行してきました。

このような実績をもとに、2010年1月5日に、東京都知事から特定非営利活動法人として認証され新たにスタートすることになりました。

この法人は、「ろう・難聴児（者）が、これからの日本を担い得る社会人として、手話をはじめとする分かりあえるコミュニケーション環境を保障され、いきいきと学び育つことを願い、全国のろう・難聴教育に関する全国討論集会開催事業、研究企画事業、書籍物出版事業、学校支援事業、普及啓発事業の推進を図ることで、全ての人に適切な教育が保障され、自立し共存できる社会の実現に寄与することを目的とする。」としています。

そして、目的を達成するために、以下の事業を行います。

- (1) ろう・難聴教育に関する全国討論集会開催事業
- (2) ろう・難聴教育に関する研究企画事業
- (3) ろう・難聴教育に関する書籍出版物事業
- (4) ろう・難聴教育に関する学校支援事業
- (5) ろう・難聴教育に関する普及啓発事業
- (6) その他目的を達成するために必要な事業

主たる事務所は東京都新宿区山吹町130エスケイビルです。

そして、代表理事は山根昭治（一般財団法人全日本ろうあ連盟理事）です。

事業年度は2024年7月1日から2025年6月30日までを現年度とし、各種事業の実施に取り組んでいます。しが集会の会場で総会も行われます。

年会費は、正会員（個人・団体）1万円、賛助会員は3千円です。入会は別紙をご覧ください。

特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会ホームページにも掲載しています。

<http://www.normanet.ne.jp/~deafedu/>

◇ 総合問合せ先：事務局長 堀米 泰晴 E-mail：horigome-yasuharu@deaf-gunma.com

◇ 会費に関する問合せ先：総務（会員担当）宮内 博子
E-mail：dou-rou-forum@deaf.hope.cx

特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会

会 員 募 集 の お 知 ら せ

特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会では、年1回の全国討論集会開催、会報発行、出版物等を皆さまの会費をもちまして活動しております。ご賛同される方は、賛助会員になることができます。

正会員（個人・団体）

- 年会費 10,000円（会計年度 7月1日から翌年6月30日）
- 特 典
- 1 総会への参加で意見を述べるができます。議決権があります。
 - 2 会報「ろう教育の明日」（年3～4回発行）の無料送付
 - 3 「ろう教育を考える全国討論集会」の参加費割引

賛助会員（個人）

- 年会費 1口 3,000円（会計年度 7月1日から翌年6月30日）
- 特 典
- 1 総会への参加（意見を述べることはできますが、議決権はありません。）
 - 2 会報「ろう教育の明日」（年3～4回発行）の無料送付
 - 3 「ろう教育を考える全国討論集会」の参加費割引

入会方法

郵便振替用紙に住所、氏名を書いて、通信欄に、正会員、賛助会員の別、FAX番号、Eメールアドレスなどの連絡先を書いて、下記宛に送金してください。

加入者名 ろう教育全国協議会
口座番号 00820-1-206751

当協議会加盟団体

- ①一般財団法人全日本ろうあ連盟
- ②ろう・難聴教育研究会
- ③全国聴覚障害教職員協議会
- ④全日本ろう学生懇談会
- ⑤一般社団法人全国手話通訳問題研究会
- ⑥公益社団法人北海道ろうあ連盟
- ⑦埼玉の聴覚障害教育を考える会
- ⑧東京都のろう教育を考える会
- ⑨社会福祉法人富山県聴覚障害者協会
- ⑩公益社団法人静岡県聴覚障害者協会
- ⑪愛知のろう教育を考える会
- ⑫近畿ろうあ連盟
- ⑬一般社団法人京都府聴覚障害者協会
- ⑭公益社団法人大阪聴力障害者協会
- ⑮兵庫のろう教育を語り合う会
- ⑯一般社団法人奈良県聴覚障害者協会
- ⑰和歌山聴覚障害教育を語る会
- ⑱公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
- ⑲福岡県聴覚障害教育を考える会
- ⑳熊本県聴覚障害教育を考える会
- ㉑一般社団法人鹿児島県聴覚障害者協会
- ㉒ろう学校数学教育研究会
- ㉓ひとつ星・さかど
- ㉔一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟
- ㉕一般社団法人新潟県聴覚障害者協会

◆実行委員会事務局所在地・参加申し込み先・レポート提出先
お問い合わせ先は下記へ

【連絡先】

〒525-0032

滋賀県草津市大路 2-11-33 滋賀県立聴覚障害者センター 1 階
一般社団法人 滋賀県ろうあ協会

(第34回ろう教育を考える全国討論集会 inしが実行委員会)

FAX 077-564-4157

E-mail : fde.shiga2024@gmail.com